

Bunka Naavi 文化ナビ

〒 757-0002 山陽小野田市大字郡 1754 番地 ☎ 71-1000 FAX71-1002 E-mail:bunka-kaikan@city.sanyo-onoda.lg.jp

文化の薫るまちになあれ…
不二輸送機ホール
(山陽小野田市文化会館)
休館日：第1・第3火曜日

ガラス探訪アーカイブス

山陽小野田市とガラス

このコーナーでは、本市が所蔵する現代ガラス作品とガラス作家を紹介します。

第4回 橋本 倫礼 (ガラス作家)

3年に1度本市にて開催される「現代ガラス展 in 山陽小野田」は、若手作家の登竜門として、多くの力作が集まるガラス展です。このガラス展において、3度の入選をされている橋本倫礼さん。橋本さんは趣味を持ちたいという思いから、「きららガラス未来館」の吹きガラス講座の第2期生として受講したことがきっかけで、ガラスの魅力にひかれ、ガラス作家を目指すようになりました。ガラス作家の西川慎先生・池本美和先生に師事し、現在は、きららガラス未来館の技術スタッフとしてガラスに触れていく中で、自分の作品として、自身が感じた自然の美しさを取り入れたガラス作品の数々を制作されています。今後の制作活動について、橋本さんは、「きららガラス未来館で展示・販売しているような器や、現代ガラス展に出品した作品など、様々な作品の制作に挑戦し、作品とともに自身も成長していきたい。また、ガラス文化の発展のため、ガラスの魅力や、ものづくりの楽しさを、体験学習を通して多くの人にお伝えしたい」という思いで活動されています。



【薬(ひこばえ)】(写真右)「第8回現代ガラス展 in 山陽小野田」入選作品。粘土で原型を制作し、石膏で型をとり、その中にガラスを詰め、窯で焼成。徐冷をした後、加工・研磨し、本体と同色のパーツを作り、組み合わせて完成させたものです。伸びゆく新芽と、その命の礎となる切株の力強さ、美しさに感銘を受けて制作されたものです。

COLUMN

大山札

競技かるたでは、ここまで聞けば札が取れるという部分を「きまり字」といいます。札によって1～6文字の長さのきまり字があります。その中でも、一番長い「6字きまり」の札6枚を総称して「大山札」と言います。例えば、「きみがためはるの～」 「きみがためをしからざりし～」のように6字目まで聞かないと取ることができません。「大山札」という呼び方の由来は、きまり字を聞き終わる前に、どちらかにヤマを張って取ったから、と言われてはいますが、実際には、ヤマを張らずに正確に取れるように心掛けて練習をします。

また試合中、札が読まれるたびに、きまり字の数が変化していきます。例えば「き」から始まる札は「きみがためは」「きみがためを」「きり」の3枚ありますが、「きみがためは」の札が読まれたら、「きみがためを」は「きみ」の「2字きまり」に変化します。選手たちは、常にこのきまり字の変化を計算しながら試合の戦略をたてています。競技かるたは、スピードある畳の上の格闘技でもありながら、とても知的なゲームでもあるわけですね。

小野田高等学校小倉百人一首かるた部
顧問 青池 のぞみ

イベント情報

きららガラス未来館 8/30日までに 「ガラスの器展」開催中!

ガラス作家5人による、食卓を彩るガラスの器を展示。ガラスの魅力に触れてみませんか?〈入館料無料〉

●開館時間 9:00～17:00

※休館日は月・火曜日、8/12(水)です。
(8/10(祝)は開館)



アラ還フェスティバル 8/29(土)から YouTube 配信スタート!

新型コロナウイルス感染症予防のため、中止となった「アラ還フェスティバル」。アラ還フェスティバル実行委員会が、みなさんを音楽の力で元気にしたいとYouTubeの配信を企画。どうぞお楽しみに!

アラ還フェスティバル山陽小野田

